

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2019年度事業報告
 (2019年4月1日～2020年3月31日)

【概 括】

I 組織

2019年度会員目標を140,000人とし、会員総数は141,618人(対前年度比・約4%増)※グラフ1となり、10月加入をもって目標を達成した。

Cプラン加入率は2018年度においては3%に満たなかったが、2019年度は約5%と増加した。増加の要因として2019年度から3プランを1枚にしたパンフレットを作成したことや、2018年度はCプランの加入者が少なかった中部ブロックより西地域で増加していることが考えられる。

グラフ1 会員数の推移

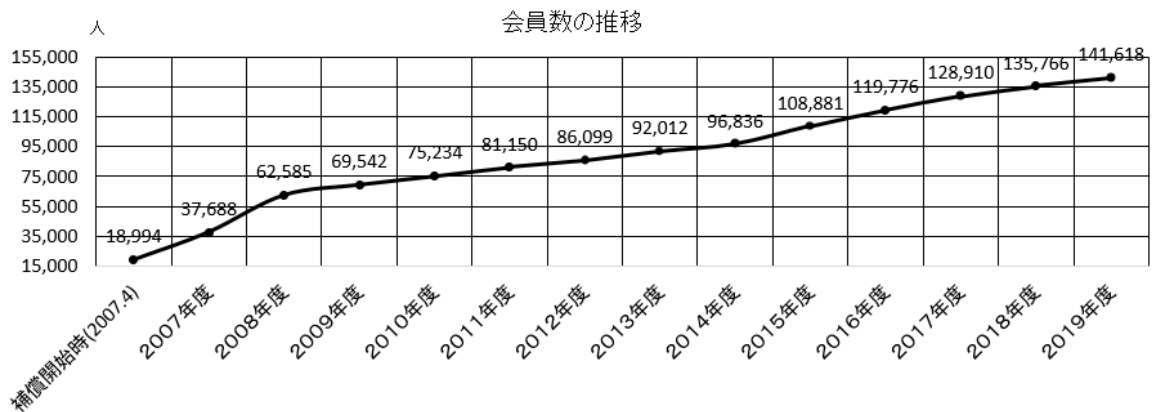


表1 ブロック別会員数の推移

ブロック名	補償開始時(2007.A)	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
北海道ブロック		369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,792	4,766	5,164	5,587	5,884
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	12,062	11,985	12,591	13,444	14,151
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	43,619	43,303	45,179	46,775	48,027
中部ブロック		8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	17,555	17,445	19,083	20,172	21,298
近畿・中国・四国ブロック			5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	24,971	24,758	28,266	30,389	31,577
九州ブロック		4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	17,670	17,519	18,627	19,399	20,681

II 事業

1 サポート協会における事業の実施

サポート協会の事業報告及び決算書より、事業の実施数は、214事業→233事業(約9%増)、1サポート協会の事業費にかかる費用平均147

万円→163万円（約11%増）となった。年金や高齢化問題、リスクマネジメントの研修、アート展やスポーツ大会の開催などが多い中、京都サポート協会では福祉協会と共催、京都新聞社の協賛でクラシックコンサートを開催していた。

2 ブロック会議

(1) 協議事項

ア 6ブロックで開催し、たまたま台風での大きな災害後のブロック会議開催となったため、中部、東北、関越ブロック会議では各サポート協会から会員や施設の被害状況も報告があった。

イ 2020年度「生活サポート総合補償制度」改定における、三者会議報告、質問やその回答等を行った。

(2) その他

関東甲越、中部、九州それぞれのブロック会議では、2019年度アールブリュット展の表彰式を行った。

また、九州ブロック会議において、会議終了後に希望者をつのり、AIG長崎損害サービスの視察を行った。

3 啓発事業

(1) 広報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

7月1日付で発行し、45サポート協会及びジェイアイシーグループ等に156,770部を送付した。

2019年度は、2020年度「生活サポート総合補償制度」改定の情報を掲載し、会員への周知の一環としたため、送付補助を行った。

なお、156,770部のうち、1,930部は追加発注である。

(2) 広告掲載

ア 集会

- ① 日本知的障害者福祉協会
「全国知的障害関係施設長等会議」
「全国知的障害福祉関係職員研究大会」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会
「第6回全国大会」
「全国手をつなぐ連合会事業所協議会全国研修大会」

イ 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）

ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

(3) ホームページ

2019年10月1日付けにて「お知らせ」ページ及び「生活サポート総合補償制度とは」ページに“2020年度「生活サポート総合補償制度」改定について”を掲載した。

「サポート協会及びブロックの活動」のページには、主催事業助成の申請があった事業を中心に20事業を掲載した。

4 アールブリュット展

全国から247作品の応募があり（うち1作品は参考作品）、当会ホームページの「お知らせ」に作品展として全作品を掲載した。総会での投票の結果、3作品を入賞作品とし、当会から賞状とともにAIG及びJICより副賞が授与された。

なお、2020年度からは各サポート協会から5作品を選び、当会に応募してもらう形式に変更する。

5 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

（三者プロジェクト—拡大MVP委員会、三者会議—の実施）

総会終了約3週間後の6月18日に拡大MVP委員会を実施し、中長期的安定に向けての施策について協議を行った。AIGより2018年度保険利用率が報告され、課題を検討し、特に保険金支払時の課題について協議した。また、2020年度「生活サポート総合補償制度」改定について会員への周知スケジュールを確認した。

拡大MVP委員会修了後、6月から8月にかけて各サポート協会、担当のAIG、JICの三者で行い、各サポート協会がブロック会議にて報告を行った。

6 2020年度「生活サポート総合補償制度」改定の準備

(1) 総会研修会

2019年度は、当会総会に各サポート協会の代表者と事務局員にも参加していただき、改定内容について及び、改定までのスケジュールについて研修会を行った。

(2) 会員周知

当会広報紙の発行日である7月1日を“2020年度「生活サポート総合補償制度」改定”発表の解禁日とし、さまざまな周知を行った。

最終案内は、2月の継続案内とし、改定案内のちらしを同封、会員が必ず封筒を開け、内容を確認してもらうよう工夫して送付した。

ア 当会広報紙「サポ協だより～シンビオシス～」の利用

A I GやJ I Cの協力を得て、当会広報紙に改定の詳細を掲載した。

各サポート協会が各会員へ送付作業を行うため、2019年度は送付補助として当初300万円を予算化したが、例年と異なり施設毎ではなく、会員1人1人に直接送付しているサポート協会も多く見受けられたため補助予算額を増額し、総額400万円と補助金額を補正した。

2020年2月に支払いを行い、2,885,424円を支出した。

なお、広報紙補助金については、2020年度以降も行うこととなった。

イ 当会ホームページへの掲載

2019年10月1日付けにて「お知らせ」ページ及び「生活サポート総合補償制度とは」ページに“2020年度「生活サポート総合補償制度」改定について”を掲載し、公開した。

ウ その他

各サポート協会発行の広報紙やホームページを公開しているサポート協会では、改定についての情報を掲載していた。

また、担当のA I G及びJ I Cの協力のもと、各地で説明会が実施され、会員へ丁寧に説明を行った。

7 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の会議等に出席した。

会議からの依頼で、各サポート協会に単独で「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」へ事業参加を行うかアンケートを行ったところ、徳島県から参加する旨の回答があった。

8 小規模サポート協会支援

2018年度まで500人以下を対象としていたが、該当のサポート協会がなかったため、1,000人以下と対象人数を引き上げた。

2019年度は、7サポート協会に536,400円を支援した。

9 事業助成（試行事業）

2019年度は7月末までに17の助成申請があり、8月のMVP委員会にて申請可否及び金額について協議し、すべての申請が第2回三役会で承認された。8月時点で予算額に満たなかったため2次募集を行ったところ、2サポート協会の申請があり、2月のMVP委員会を経て、第4回三役会にて承認された。

その後、承認された事業の内、新型コロナウイルスの影響により実施日直前で中止となった事業が出てきたため、急遽第2回理事会にて該当事業の助成金の支払いについて協議を行った。結果、該当事業については、半額の5万円の助成を行うこととなった。2020年度以降、このような不測の事態で中止となった事業への助成金支払いについて、実施要項に記載する。

なお、2019年度の主催事業助成の総額は、上記の中止となった事業助成金も含め、1,843,436円となった。

10 弁護士の委託

現在Cプランに弁護士費用等補償があり、2020年度からはBプランにも補償が追加されることから、一部のサポート協会より「会員からサポート協会に弁護士の紹介要望がある可能性があるが、紹介できる弁護士がいないので全国サポート協会から紹介してほしい」旨の要望があった。

結果、6ブロック各1名の紹介窓口となる弁護士が決まった。大石顧問弁護士にも助言をいただき委託契約書を作成、各ブロック弁護士紹介委託費用として年間各10万円をお願いすることとなった。2020年3月にそれぞれのブロックの担当弁護士に当会や生活サポート総合補償制度について説明を行った。

2020年度以降、紹介委託費用は就労支援事業の1つとして予算化することとなった。

【事業内容】

1 2019年度定時社員総会

日 時：2019年5月31日（金）12：30～15：00

場 所：品川区総合区民会館 7階 イベントホール

議案事項：・2018年度事業報告及び決算報告・監査報告

・2020年度「生活サポート総合補償制度」改定承認

・理事及び監事承認 他

2 理事会

	日時	場所	内容
定款第31条 に基づく	2019年4月1日(月)	電磁的記録	運営規程変更(案)
第1回	2019年4月26日(金) 13:00～15:30	品川区立総合区 民会館 イベントホール	・2018年度事業報告・決算報告 (案) ・2020年度「生活サポート総合補償制 度」改定(案) 他
臨時	2019年5月31日(金) 14:15～14:30	品川区立総合区 民会館 イベントホール	・代表理事(理事長)、副理事長 選定の件
定款第31条 に基づく	2019年10月11日 (金)	電磁的記録	・2019年度当会広報紙「サポ協だよ り～シンビオシス～」送料負担改定 (案) ・補正予算(案)
第2回	2020年2月27日(木) 13:00～15:30	品川区立総合区 民会館 イベントホール	・2019年度事業の評価反省 ・事務局事務所移転 他

3 三役会

	日時	内容
第1回	2019年4月10日(水) 13:00~16:00	・2018年度事業報告、決算報告、監査報告 ・2020年度「生活サポート総合補償制度」改定(案) 他
臨時	2019年6月18日(金) 14:00~17:15	・「ブロック会議 正副理事長出席者について ・中長期施策/三者プロジェクトについて 等
第2回	2019年9月4日(金) 10:00~14:30	・ブロック会議協議内容 ・弁護士紹介について 等
第3回	2019年12月11日(水) 14:00~17:10	・「全国知的障害児者生活サポート協会事務所移転先候補(案) ・アールブリュット作品展募集要項について 等
第4回	2020年2月5日(水) 13:30~17:00	・主催事業助成 2次募集の助成可否について ・2019年度事業等の評価・反省 ・2020年度事業計画・予算(案) 他

※ 開催場所：臨時 新宿NSビル 3階会議室
その他 全国サポート協会 事務所

4 拡大MVP委員会 MVP委員会

拡大MVP委員会(兼三役会)

日時：2019年6月18日(火) 14:00 ~ 17:00

場所：新宿NSビル 3階会議室

内容：・2019年現在までの各プラン加入状況
・2018年度保険利用率
・今後のスケジュール等について

第1回MVP委員会

日時：2019年9月3日(火) 14:00~16:00

場所：全国サポート協会 事務所

内容：・事業助成について

第2回MVP委員会

日時：2020年2月5日(水) 10:00~12:00

場所：全国サポート協会 事務所

内容：・事業助成について
・今後の事業等について

5 ブロック会議

- ・第9回北海道ブロック会議

2019年10月4日(金) 14:30~17:00

北海道(札幌市) 道民活動センター かでる2. 7

- ・第13回東北ブロック会議

2019年10月17日(木) 14:00~17:00

青森県 青森国際ホテル

- ・第14回関東甲越ブロック会議

2019年11月14日(木) 13:30~16:45

群馬県 ホテルメトロポリタン高崎

- ・第13回中部ブロック会議

2019年10月24日(木) 14:00~17:00

岐阜県 ひだホテルプラザ

- ・第12回近畿・中国・四国ブロック会議

2019年10月10日(木) 13:30~17:00

奈良県 奈良ロイヤルホテル

- ・第13回九州ブロック会議

2019年11月7日(木) 14:00~17:00

長崎県 ホテルニュー長崎

6 研修会

日時: 2019年5月31日(金) 15:30~17:00

場所: 品川区総合区民会館 7階 イベントホール

内容: 2020年度「生活サポート総合補償制度」改定

説明 AIG損害保険(株) (株)ジェイアイシー

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2019年度収支計算書 ー運営の部ー

2019年4月1日から2020年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	2019年度決算額	2019年度予算額	2019年度補正 予算額	補正予算額 増減	摘要
運営費収入		28,120,600	27,868,200	27,868,200	252,400	
	入会金	0	0	0	0	
	年会費	28,120,600	27,868,200	27,868,200	252,400	200円×139,588人=27,917,600 100円×2,030人=203,000 計28,120,600円
雑収入	雑収入	40	1,000	1,000	△960	普通預金利息
繰越金	前期繰越金	7,734,056	7,734,056	7,734,056	0	2018年度繰越金
合計		35,854,696	35,603,256	35,603,256	251,440	

支出

0

大科目	中科目	2019年度決算額	2019年度予算額	2019年度補正 予算額	補正予算額 増減	摘要
事業費		8,683,538	10,291,000	11,291,000	△2,607,462	
	入会金返金	0	0	0	0	
	年会費返金	18,400	16,000	16,000	2,400	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	1,843,436	2,350,000	2,350,000	△506,564	サポート協会主催事業助成
	組織強化費	536,400	500,000	500,000	36,400	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	871,932	1,000,000	1,000,000	△128,068	広告掲載、HP維持
	研修費	0	0	0	0	研修会講師謝礼等
	助成金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	533,560	1,000,000	1,000,000	△466,440	MVP委員旅費等
	就労支援	0	150,000	150,000	△150,000	就労支援説明出張費等
	支援金	2,885,424	3,000,000	4,000,000	△1,114,576	当会広報紙送付代金支援
	支払手数料	994,386	1,275,000	1,275,000	△280,614	振込手数料等
管理費		18,920,646	21,178,000	19,978,000	△1,057,354	
	人件費	4,891,265	4,913,000	4,913,000	△21,735	職員2名分、事務局局長社会保険手当
	法定福利費	521,544	510,000	510,000	11,544	社会保険料等
	福利厚生費	139,440	160,000	160,000	△20,560	購読料、健康診断等
	総会費	3,002,743	4,700,000	3,500,000	△497,257	総会(交通費2名分、会場費)等
	会議費	2,071,860	2,500,000	2,500,000	△428,140	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,608,360	1,530,000	1,530,000	78,360	ブロック会議、通勤手当職員2名分等
	賃借料	2,113,500	2,111,000	2,111,000	2,500	家賃更新料
	水道光熱費	99,565	110,000	110,000	△10,435	水道、電気料
	通信運搬費	243,132	300,000	300,000	△56,868	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	182,325	149,000	149,000	33,325	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リース料	250,516	251,000	251,000	△484	事務機器
	印刷製本費	1,154,842	1,120,000	1,120,000	34,842	会報作成費用等
	消耗品費	256,159	400,000	400,000	△143,841	複合機使用料、事務用品費等
	備品	576,720	600,000	600,000	△23,280	パソコン(設置・イストラ含)、FAX購入費用⇒固定資産へ
	会員管理費	480,585	403,000	403,000	77,585	会員管理費、AIGT→送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	81,650	111,000	111,000	△29,350	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	40,440	100,000	100,000	△59,560	慶弔・贈答品等
	引当金	120,000	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	6,000	10,000	10,000	△4,000	法人会会費等
予備費		0	4,134,256	4,334,256	△4,334,256	
次期繰越金		8,250,512			8,250,512	2019年度繰越金
合計		35,854,696	35,603,256	35,603,256	251,440	

2019年度収支計算書 ー保険料の部ー

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	決 算 額	予 算 額	予 算 額 増 減	摘 要
収入	預り保険料入	2,358,843,370			下記のとおり
	保険料	2,345,827,750	2,290,843,380	54,984,370	
	返戻金	13,015,620			
支出	預り保険料出	2,358,843,370			
	保険料	2,345,827,750	2,290,843,380	54,984,370	
	返戻金	13,015,620			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p>合計金額内訳 保険料(会員数)合計2,345,827,750(141,607人分) 2,344,651,570(141,544人分)「2019年4月から2020年1月入金までの2019年度保険料」 +1,176,180円(63人分)「2020年3月入金(2020年度保険料)」</p> <p>参考：「2019年度保険料合計」(141,618人分) 2,344,651,570(141,544人分)「2019年4月から2020年1月入金までの2019年度保険料」 +1,281,380円(74人分)「2019年3月入金(2019年度保険料)」 =2,345,932,950</p>
返戻金	内訳 (サポート協会振込)

貸借対照表

2020年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,295,464	7,799,814	495,650
流動資産合計	8,295,464	7,799,814	495,650
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	31,255,097	△ 31,255,097
基本財産合計	0	31,255,097	△ 31,255,097
(2) 特定資産			
退職金積み立て	750,016	630,005	120,011
定期預金	31,257,751	0	31,257,751
特定資産合計	32,007,767	630,005	31,377,762
(3) その他固定資産			
什器備品	679,455	421,201	258,254
保証金	675,000	675,000	0
その他固定資産合計	1,354,455	1,096,201	258,254
固定資産合計	33,362,222	32,981,303	380,919
資産合計	41,657,686	40,781,117	876,569
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受年会費	12,600	14,800	△ 2,200
預り金	32,352	50,958	△ 18,606
流動負債合計	44,952	65,758	△ 20,806
2. 固定負債			
退職給付引当金	750,005	630,005	120,000
固定負債合計	750,005	630,005	120,000
負債合計	794,957	695,763	99,194
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	(10,000,000)	(△10,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	40,862,718	40,085,354	777,364
(うち特定資産への充当額)	0	(16,255,097)	(△16,255,097)
(うち特定資産への充当額)	(31,827,751)	(510,000)	(31,317,751)
正味財産合計	40,862,729	40,085,354	777,375
負債及び正味財産合計	41,657,686	40,781,117	876,569

正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	28,120,600	27,347,600	773,000
入会金収入	0	367,800	△ 367,800
年会費収入	28,120,600	26,979,800	1,140,800
雑収入	2,705	1,408	1,297
受取利息	2,705	1,408	1,297
経常収益計	28,123,305	27,349,008	774,297
(2) 経常費用			
事業費	8,683,538	6,336,977	2,346,561
入会金返金	0	300	△ 300
年会費返金	18,400	13,600	4,800
事業助成	1,843,436	1,640,681	202,755
組織強化費	536,400	0	536,400
MVP委員会	533,560	771,087	△ 237,527
啓発宣伝費	871,932	1,980,641	△ 1,108,709
助成金	1,000,000	1,000,000	0
支払手数料	994,386	930,668	63,718
支援金	2,885,424	0	2,885,424
管理費	18,343,926	17,213,817	1,130,109
給与手当	4,891,265	4,810,950	80,315
法定福利費	521,544	471,553	49,991
福利厚生費	139,440	131,210	8,230
総会費	3,002,743	2,116,040	886,703
会議費	2,071,860	2,341,484	△ 269,624
旅費交通費	1,608,360	1,542,348	66,012
賃貸料	2,113,500	1,944,000	169,500
水道光熱費	99,565	90,259	9,306
通信運搬費	243,132	250,990	△ 7,858
環境管理費	172,045	136,080	35,965
リース料	250,516	250,516	0
印刷製本費	1,154,842	1,015,372	139,470
消耗品費	256,159	287,354	△ 31,195
会員管理費	480,585	467,700	12,885
顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0
租税公課	81,650	100,600	△ 18,950
渉外費	40,440	41,081	△ 641
退職金繰入	120,000	120,000	0
雑費	6,000	6,000	0
保険料	10,280	10,280	0
減価償却費	318,465	64,800	253,665
経常費用計	27,345,929	23,615,594	3,730,335
評価損益等調整前当期経常増減額	777,373	3,733,414	△ 2,956,041
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	777,376	3,733,414	△ 2,956,038
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	776,375	3,733,414	△ 2,957,039
一般正味財産期首残高	40,085,354	36,351,940	3,733,414
一般正味財産期末残高	40,862,729	40,085,354	777,375
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,862,729	40,085,354	777,375

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2020年度事業計画

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) =知的障害児者生活サポート

Vision (ヴィジョン・将来像) =全国(組織)

Passion (パッション・熱情) =協会(熱い情の協働体)

- 2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携
3 事業では、当会定款第2条(目的・事業)を実施・継続
4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会
また必要に応じて三役会等を開催する。

- (1) 定時社員総会 1回
(2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・自閉症児者(以下「障害者」という)とその
家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次
の事業を行う。

- ① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業
- ② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申
- ③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業
- ④ 社員の発展に必要な援助及び指導
- ⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、
必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」に
て各ブロックの会議報告を行う。

(2) 啓発事業の実施

ア 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回
総会やアールブリュット展入賞作品や、会員へ有用な情報を発信する。

また、2019年度に実施した当会広報紙発送費用補助を引き続き実施する。

イ ホームページ

「サポート協会及びブロック会議の活動」にてサポート協会の事業を一般に広く公開する。また、「お知らせ」ページで、社員に必要な情報を即時発信する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

① 日本知的障害者福祉協会「施設長等会議（神奈川県：7月1日～2日）」

「全国職員研究大会（京都府：9月23日～24日）」

※ 2020年度から冊子広告をやめるかもしれないとの情報があり、その場合は「生活サポート総合補償制度」のチラシを配布する

② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会（愛媛県：10月3日～4日）」

「事業所協議会全国研修大会（大阪府：令和3年2月27日～28日）」

(イ) 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

(3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）の実施

「生活サポート総合補償制度」の長期的安定の施策について三者（AIG 損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2020年度146,000人とする。

特に若年層の新規会員（加入者）の開拓を推進する。そのための施策を協議、検討する。

(イ) 制度安定のための課題改善

制度安定に於いて、特に重要な課題である保険利用率の改善について、三者で検証し、協議を行う。

イ 2020年度「生活サポート総合補償制度」保険料改定による影響

5月の継続保険料引落後、会員からの問合せが増えることが推測される。また、一時的ではあろうが、会員減、運営資金の減等、負の影響も考えられる。

当会として、そういった社員（サポート協会）へのサポート方法を協議し、実施する。

ウ サポート協会（社員）加盟の促進と未加盟県新規加入希望者の対応

全都道府県の当会加盟をめざし、未加盟の3県（岡山、広島、島根）へのサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

また、未加盟県の新規加入希望者について、今後の対応を協議する。

(4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

3 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会<会員（加入者）数1,000人以下>へ基盤強化・拡大を図るため、支援する。

- ・支援内容 年間 会員（加入者）1人100円(200円から変更)
- ・会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日(現在)
尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円
(1,000人を超えた年度で支援終了)

4 アールブリュット作品展

会員、非会員にかかわらず作品を募集し、応募のあった全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を2021年度分のパンフレット及び広報紙（サポ協だより）に掲載する。

5 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進する。

6 MVP委員会の実施

- (1) 各サポート協会の主催事業支援助成について協議する。
- (2) 今後当会が実施する事業について協議する。
- (3) 拡大MVP委員会に於いては、委員は三者プロジェクトの各ブロック代表者として、AIG損保・JICとともに「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策について協議する。

7 新事務所移転

移転について、2019年度第2回理事会にて承認された。その後、2020年5月より現事務所の隣ビル4階に新事務所を借りることとなった。正式な移転日は6月1日とし、移転準備が総会準備と重なることから計画的に準備を行う。

なお、会計は特別会計とし、準備金として積み立てを行っていた1千万円を利用する。残金が発生した場合は、サポート協会への助成金として利用する。助成方法は、別途協議を行う。

8 その他

応募があった会員のアールブリュット作品を基にカレンダーを作成する。

《試行事業》

1 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会が行っている主催事業に対して全国サポート協会から総額200万円の助成を行う。また、新たに広報紙を作成したサポート協会も助成対象とする。

なお、2019年度に於いて、助成総額が200万円に満たなかったため、残額を付加した助成金額とする。

2 就労支援事業

弁護士の委託事業を就労支援事業の1つとする。6ブロックのサポート協会から当会に弁護士紹介依頼があった場合、各ブロックの弁護士を紹介する。

【2020年度会議予定表】

期日	会議名	場所
4月8日(水)	監査	全国サポート協会 事務所
	第1回三役会	
4月23日(木)	第1回理事会	品川区総合区民会館 大会議室
5月28日(木)	定期社員総会	大田区産業プラザ Pio コンベンションホール
7月8日(水)	拡大MVP委員会	新宿NSビル
	第2回三役会	
9月18日(金)	北海道ブロック会議	道民活動センター(札幌市)
10月15日(木)	東北ブロック会議	ホテルメトロポリタン盛岡(岩手県)
10月22日(木)	近畿・中国・四国ブロック会議	愛媛県
11月12日(木)	中部ブロック会議	富山県民会館
11月19日(木)	関東甲越ブロック会議	浦和ワシントンホテル(埼玉県)
11月25日(水)	九州ブロック会議	武雄センチュリーホテル(佐賀県)
12月	MVP委員会	全国サポート協会 事務所
	第3回三役会	
2021年		
2月初旬	第4回三役会	全国サポート協会 事務所
3月初旬	第2回理事会	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2020年度収支予算 ー運営の部ー

2020年4月1日から2021年3月31日まで

収入

(単位:円)

大科目	中科目	2019年度予算額	2019年度補正予算額	2020年度予算額	2019補正予算・2020年度予算増減	摘要
運営費収入		27,868,200	27,868,200	28,997,700	1,129,500	
	入会金	0	0	0	0	
	年会費	27,868,200	27,868,200	28,997,700	1,129,500	200円×143,977人=28,795,400 100円×2,023人=202,300 計28,997,700円
雑収入	雑収入	1,000	1,000	1,000	0	利息
繰越金	前期繰越金	7,734,056	7,734,056	8,250,512	516,456	2019年度繰越金
	合計	35,603,256	35,603,256	37,249,212	1,645,956	

支出

0

大科目	中科目	2019年度予算額	2019年度補正予算額	2020年度予算額	2019補正予算・2020年度予算増減	摘要
事業費		10,291,000	11,291,000	11,271,000	△20,000	
	入会金返金	0	0	0	0	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	16,000	16,000	20,000	4,000	脱退・二重払込等による年会費の返金
	事業助成	2,350,000	2,350,000	2,506,000	156,000	サポート協会主催事業助成・新規広報紙作成助成
	組織強化費	500,000	500,000	600,000	100,000	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	広告掲載、HP維持等
	研修費	0	0	200,000	200,000	研修会講師謝礼 研修会冊子購入費等
	助成金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	委員会旅費等
	就労支援	150,000	150,000	600,000	450,000	67 ロック弁護士委託費用
	当会事業費	0	0	1,000,000	1,000,000	かいた-作成費
	支援金	3,000,000	4,000,000	2,070,000	△1,930,000	広報紙発送費用補助
	支払手数料	1,275,000	1,275,000	1,275,000	0	振込手数料等
管理費		21,178,000	19,978,000	20,041,000	63,000	
	人件費	4,913,000	4,913,000	5,364,000	451,000	職員2名分、事務局長社会保険手当、通勤手当
	法定福利費	510,000	510,000	500,000	△10,000	社会保険料等
	福利厚生費	160,000	160,000	160,000	0	購読料、健康診断等
	総会費	4,700,000	3,500,000	2,700,000	△800,000	総会(交通費1名分、会場費)等
	会議費	2,500,000	2,500,000	3,000,000	500,000	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,530,000	1,530,000	1,101,000	△429,000	ブロック会議等
	賃借料	2,111,000	2,111,000	3,102,000	991,000	家賃 6月移転
	水道光熱費	110,000	110,000	110,000	0	水道、電気料
	通信運搬費	300,000	300,000	300,000	0	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	149,000	149,000	24,000	△125,000	事務所管理費(カ) ※6月移転とした場合
	リース料	251,000	251,000	243,000	△8,000	事務機器
	印刷製本費	1,120,000	1,120,000	1,176,000	56,000	広報紙作成費用等
	消耗品費	400,000	400,000	450,000	50,000	複合機使用料、イストレー利用更新費、事務用品費等
	備品	600,000	600,000	0	△600,000	
	会員管理費	403,000	403,000	410,000	7,000	会員管理費、AIGF-送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	111,000	111,000	111,000	0	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	100,000	100,000	80,000	△20,000	慶弔・贈答品等
	引当金	120,000	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	10,000	10,000	10,000	0	雑費
予備費		4,134,256	4,334,256	5,937,212	1,602,956	
	合計	35,603,256	35,603,256	37,249,212	1,645,956	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2020年度収支予算 ー保険料の部ー
 2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2019年度予算額	2020年度予算額	増 減	摘 要
					2020年度会員目標 146,000 人 会員数は前年度月別比で算定し、保険料に乘算
					プランA
					4月 17,000 円 × 82,619 人 = 1,404,523,000
					5月 15,060 円 × 282 人 = 4,246,920
					6月 13,710 円 × 393 人 = 5,388,030
					7月 12,330 円 × 255 人 = 3,144,150
					8月 10,950 円 × 197 人 = 2,157,150
					9月 9,590 円 × 180 人 = 1,726,200
					10月 8,240 円 × 202 人 = 1,664,480
					11月 6,860 円 × 205 人 = 1,406,300
					12月 5,480 円 × 158 人 = 865,840
					1月 4,120 円 × 107 人 = 440,840
					2月 2,750 円 × 82 人 = 225,500
					合計 84,680 人 1,425,788,410
					プランB
					4月 22,720 円 × 51,432 人 = 1,168,535,040
					5月 20,160 円 × 322 人 = 6,491,520
					6月 18,350 円 × 343 人 = 5,662,930
					7月 16,510 円 × 311 人 = 4,556,150
					8月 14,650 円 × 295 人 = 3,781,900
					9月 12,820 円 × 214 人 = 2,356,140
					10月 11,010 円 × 252 人 = 2,310,840
					11月 9,170 円 × 203 人 = 1,490,020
					12月 7,340 円 × 203 人 = 1,120,560
					1月 5,520 円 × 223 人 = 816,180
					2月 3,660 円 × 222 人 = 812,520
					合計 54,020 人 1,197,933,800
					プランC
					4月 19,510 円 × 6,229 人 = 121,527,790
					5月 17,480 円 × 203 人 = 3,548,440
					6月 15,900 円 × 340 人 = 4,865,400
					7月 14,310 円 × 118 人 = 1,499,780
					8月 12,710 円 × 100 人 = 1,113,000
					9月 11,130 円 × 56 人 = 534,240
					10月 9,540 円 × 89 人 = 707,550
					11月 7,950 円 × 57 人 = 362,520
					12月 6,360 円 × 37 人 = 176,860
					1月 4,780 円 × 41 人 = 129,970
					2月 3,170 円 × 30 人 = 95,100
					合計 7,300 人 134,560,650
収 入	保 険 料	2,290,843,380	2,758,282,860	467,439,480	
支 出	保 険 料	2,290,843,380	2,758,282,860	467,439,480	同 上

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2020年度収支予算 -事務所移転の部(特別会計)-
 2020年4月1日から2021年3月31日まで

収入				(単位:円)
大科目	中科目	予算額	摘要	
	積立預金(定期預金)	10,000,000	定期預金(三菱UFJ銀行 0100740)	
	保証金	675,000	第一内神田ビル保証金	
	合計	10,675,000		
支出				
大科目	中科目	予算額	摘要	
現事務所		867,000		
	償却費用	270,000	現事務所賃料2か月分 135,000×2か月	
	原状回復費用	561,000	見積書による	
	セキュリティ機械取外費用	30,000	SECOM概算	
	大家御礼	6,000		
新事務所		2,984,000		
	保証金	1,260,000	賃料の6か月分(210,000×6か月)	
	重複期間家賃	233,000	5/7~5/31 186,200+46,200=232,400	
	保証委託料	278,000		
	仲介手数料	231,000		
	テナント保険料	17,000	2年更新	
	引越費用	341,000	見積書による	
	ブラインド取付等	100,000	概算	
	IT・通信設備工事	124,000	見積書による	
	法務局移転登記	30,000		
	電話移設工事	20,000	概算	
	移転案内作成	300,000	100枚 印刷・送料込	
	諸経費	50,000	はんこ作成10,000 封筒シール作成40,000	
予備	予備費	500,000		
支出合計		4,351,000		
残金		6,324,000		